



# 小中一貫だより No.4

## 子どもたちの「やってみたい」を応援! 小中一貫教育の新たな挑戦

4月14日、下川中学校にて小中一貫教育全体会が行われました。下川町の小中学校は「未来につむぐ自分らしさの創造」を目標に9年間の学びをつないでいます。今年度は「安心して挑戦できる機会の創出」をテーマに、小中の先生方で3つのチームをつくり、具体的な活動を推進。「学習チーム」は乗り入れ授業(算数・体育・書写など)や1日中学校体験を計画し、「指導チーム」は地域清掃や防災学習を通じて小中の絆を深めます。「特別支援チーム」では、合同学習や丁寧な教育相談を通じて一人ひとりの歩みを支えます。「失敗を気にせず、まずはやってみよう!」と、活気あふれる施設分離型小中一貫校の2年目がスタートしました。



## 小中合同・地域清掃ボランティアを実施

4月30日、下川小学校の4~6年生と下川中学校の全生徒による「地域清掃ボランティア」が行われました。この活動は、小中一貫教育の取組の一環として、学年の枠を超えて協力し合い、地域の一員として貢献する気持ちを育てることを目的に行っています。児童・生徒合わせて約100名が参加。中学生がリーダーとなり、小学生と一緒に「にぎわい広場」周辺や通学路など、6エリア、12グループに分かれて活動しました。活動を終えて「いろんなゴミがあって、拾うのに苦労した。これからもゴミを見つけたら積極的に拾ってまちをきれいにしていきたい」と、代表児童の感想発表がありました。

